

ハンド日本し富山大会

レシーバーで解説

27日に氷見市ふれあいスポーツセンターで行われるハンドボールの「日本リーグ富山大会」(北日本新聞社後援)で、県ハンドボール協会は、観客を対象にレシーバーを使った試合解説を行う。競技の見どころやルールの説明を聞きながら観戦してもらう。

県内のスポーツ振興を目指すNPO法人「富山スポーツコミュニケーションズ(TSC)」はこれまでサッカー、野球、バスケットボールのプロチームの試合で同様の試合解説を実施。同協会がTSCへレシーバーの貸し出しなど協力を申し入れた。会場内に受け付けブースを設け、先着30人にレシーバーを貸し出す。